

24 時間コンセプトの作業療法

特集にあたって

作業療法は、核は変わらなくとも各分野・各時期によってアプローチ等が異なる。本特集では、「24 時間コンセプトの作業療法」というテーマのもと、主に身体障害・発達障害・精神障害・老年期障害において、OT がどのように対象者の個性を活かした生活（趣味・生きがい等）の獲得をマネジメントしたのか、具体的な介入例とともに紹介する。

OT にとって、対象者の 24 時間の生活に介入することはあたり前のことかもしれない。1 回の介入による改善ももちろん重要であるが、24 時間 365 日続く生活を見据えることで、また違ったアプローチができるはずである。本特集が私たちにとって、対象者との向き合い方、かかわり方をあらためて考える機会になることを期待する。そして、「24 時間コンセプト」という概念がさらに深化していくことを望んでいる。

（土居 史和）

企画担当

土居 史和（山梨リハビリテーション病院、作業療法士）

山本 伸一（山梨リハビリテーション病院、作業療法士）

西出 康晴（倉敷中央病院、作業療法士）

長野 敏宏（御荘診療所、医師）